

平成29年度 長野女子高等学校 自己評価

学校教育目標

1. 礼儀を重んじ、思いやりの心を持ち、女性らしい温雅と清らかな心を培う。
2. 自ら知識と技能を体得し、正しく広く追究していく清新な姿勢と能力を培う。
3. 責任と義務を自覚し、思慮深い適切な判断で行動できる実践力を養う。

中・長期目標

1. 学校教育方針の具現化を教育活動を通して図る。
2. 学力の向上をはかり、希望進路の実現を目指す。
3. 教職員の指導力を高める。
4. 社会に貢献できる人材を育成し、地域から信頼される学校づくりをめざす。

平成29年度 重点目標

1. 改革に向け、ICTの利用などの授業革新の研究を進める。
2. 基礎学力の向上と実力養成を図る。
3. 安全を確保し、安心した学校生活を送れる環境を維持する。
4. Classiの活用を含め、やる気と達成感、充実感を味わえる学習活動を展開する。
5. 習熟度別学習、チームティーチング(TT)により、わかる授業、身につく指導を徹底する。
6. 校則の順守を徹底し、規範意識の増進を目指す。

分野	評価項目	評価の観点	評価 A～C	成果と課題
教育課程	教育課程の研究・改善	新学習指導要領、新コース制導入に沿う教育課程の研究が行えたか。	A	新学習指導要領の実施を前に、本校の教育課程の見直しに着手した。
		3学年の選択科目の選択において生徒の個別指導ができたか。	B	授業内での個別指導となったが、生徒が自主的、主体的に学習に臨む態度の育成を目指し、わからないところがわかる指導を心がけた。
学習指導	基礎学力定着	習熟度別授業を通し、各生徒に合った進度で授業を行えたか。	A	習熟度別授業により一定の成果を上げることができた。Classiなどを使いさらに生徒全員の学力向上に努めたい。
	学習指導力向上	教員相互で授業参観を実施し、授業の質の向上がはかれたか。	B	授業検討会にて課題、問題点を検討した。
生徒指導	校則の実践、定着	校則の意味及び必要性を指導できたか。	B	押し付けでない指導に重点を置いたが、「ルールを守る」という基本の理解に対する指導をさらに継続し徹底していきたい。
		自ら校則を守ろうとする意識を持たせることができたか。	B	同上。家庭の協力をいただきながら、規範意識の向上や倫理観を育む指導をさらに細かく丁寧に継続していきたい。
	基本的生活習慣の定着 および社会性の向上	挨拶、遅刻、欠席、身だしなみ指導が継続的に行うことができたか。	C	特に不登校、遅刻が多い生徒に対し、指導の成果(それによる遅刻、欠席の解消または減少)が十分に表れたとはいえない面があった。
進路指導	進路指導計画の確立	3年間の長期展望に立った進路計画が整備できたか。	A	進指ガイダンス、総合学習などで生徒一人ひとりが自己と向き合い、進路について考えることができる指導ができた。
	キャリア教育の確立	1年次より将来を見据えたキャリア教育が行われたか、特にインターンシップ、サマーチャレンジボランティアなどの課外活動を積極的に推進できたか。	B	同上。今後更にボランティア活動への自主的・積極的な参加を促し、他者と協働して学ぶ態度を育成したい。
開かれた学校	情報提供	ホームページ、オクレンジャー、プリント類を通じて、情報発信できたか。	A	ホームページのリニューアルに着手した。 学年通信により校内活動の様子を発信した。
	地域活動	地域の清掃や雪かきなど、地域活動に参加できたか。	B	クラブ活動を通し地域の清掃活動を始め行事に参加することで、地元地域住民の方々とのつながりを深めることができた。
	PTA活動	学級、学年、地区PTA、オクレンジャーを通じて、保護者の声を吸収できたか。	A	PTA広報紙、学年通信、オクレンジャー等を使い、適切な情報発信ができた。

A:評価できる B:概ね良い C:不十分